

2020 年度実施概要

学校名

洋野町立中野中学校

採択活動名

「自ら学ぼう ～海洋を視点とした洋野の自然・人・社会とのふれあいから～」

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

| 単元名 | 学年 | 教科 |
|-----------------------------|-------|-----|
| 1. オリエンテーション | 1・2・3 | 海洋科 |
| 2. 森と海の関係について知る | 1 | 海洋科 |
| 3. 海と山を生かした特産品を作る | 1 | 海洋科 |
| 4. 洋野の産業を知る | 1 | 海洋科 |
| 5. キャリアアップ研修 | 2 | 海洋科 |
| 6. 洋野町 PR 大作戦 | 2 | 海洋科 |
| 7. 洋野町の海の問題と解決策を探り発表する | 2 | 海洋科 |
| 8. ヒロノジンから学ぼう | 3 | 海洋科 |
| 9. 想造～これからの自分の生き方～震災・復興から学ぶ | 3 | 海洋科 |
| 10. 有家浜清掃 | 1・2・3 | 海洋科 |
| 11. 伝統芸能「ナニヤドヤラ」継承 | 1・2・3 | 海洋科 |
| 12. 文化祭発表 | 1・2・3 | 海洋科 |

取り組みの概要

【目標】

探究的な見方・考え方を働かせ、「海」を視点に体験活動や学習活動、保全活動などの横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、実生活と海・地域・社会とのつながりについて考えを深めさせ、自己の生き方や地域の在り方を考えていくための資質・能力を育成する。

(1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。【知識及び技能】

(2) 自分たちが暮らす実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析してまとめ、相手に伝わるように表現することができるようにする。【思考力・判断力・表現力】

(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養うとともに、現在そして将来、生まれ育った地域や自分の住む場所の継承・発展と、自己の望ましい生き方・在り方を考え続けることができるようにする。【学びに向かう力、人間性】

【1 学年】「地域を知ろう～海と山の関係と地域産業から見える洋野の海の課題」

(1) 森と海の関係について知る

・講義「大野地域の産業や暮らしと海洋との関わり」講師：ひろのまきば天文台台長 阿部俊夫 先生

(2)海と山を生かした特産品を作る

- ・講義・体験学習「長根商店：三陸アワビ茸菌床ブロックづくり」

(3)洋野の産業を知る

- ・体験学習「洋野町の産業を調べよう」

〔(株)北三陸ファクトリー/おおのキャンパス/(株)北部産業/種市南漁協/たねいち産直ふれあい広場〕

【2 学年】「地域を考えよう～洋野町と他地域との比較から洋野の海の課題解決」

(1)キャリアアップ研修(海洋科宿泊研修)

- ・他地域（雫石）と洋野のそれぞれの特性を生かした産業、環境、住、食、産業などについて比較することで、洋野の魅力や課題点を発見し、課題解決の糸口を見つける機会とする。

〔しずくいし軽トラ市実行委員会/バイオマスパワーしずくいし/行徳養魚場〕

(2)洋野町 PR 大作戦

- ・洋野町の海の問題を見つけ、洋野独自のよさを生かした解決策を探る。

(3)洋野町の海の問題と解決策を探り発表する。

- ・文化祭、気仙沼海洋サミット、全国海洋教育サミット、洋野町海洋カンファレンスで発表する。

【3 学年】「洋野の未来を考えよう～洋野町の発信・将来の創造～」

(1)ヒロノジンから学ぼう

- ・中野白滝/高家漁港/有家川ヤマメイワナ放流/洋野町津波慰霊碑

(2)想造～これからの自分の生き方～震災・復興から学ぶ

- ・いのちをつなぐ未来館(釜石市)/高田松原再生ボランティア(陸前高田市)/震災遺構見学(宮古市)

【全学年】

(1)有家浜清掃

- ・全校生徒で、学区内にある海岸清掃を実施。

(2) 伝統芸能「ナニヤドヤラ」継承

- ・地元保存会の方を講師として、身近な地域の伝統的盆踊り「ナニヤドヤラ」継承会を実施し、文化祭で披露。

活動中の写真

